

鹿児島県高校総合体育大会ボクシング競技大会 『連絡事項』

はじめに

鹿児島県高体連HP上にある「県高体連主催大会等への参加に当たっての注意事項」内を確認し、競技への参加をお願いします。なお、体温が37.5℃以上の発熱がある場合は、当該者は競技大会参加を見合わせるとともに、学校関係者については所属校長の判断を仰ぎ適切な行動を速やかにとること。

1. 県総合体育大会ボクシング競技大会への参加に当たって

- 1-1. 上記注意事項にある「② 主催大会等への参加に当たっての注意事項」を生徒・保護者へ事前配布し、承諾を得た後申し込むこと。
- 1-2. 競技会前日のエントリーズチェック時に、事前配布の生徒用（選手、補助員含む）、部活動顧問用（引率者、外部指導者含む）の体調チェックシートを提出すること。（内容について不備がないようにすること）
- 1-3. エントリーズチェック後にIDを配布する。大会期間中は必ず携帯すること。
- 1-4. 大会期間中の行動は、「主催大会等の開催における感染拡大予防ガイドライン」に準じて行動すること。
- 1-5. 参加者は各自でマスクを準備し、着用すること。

2. 検診について

- 2-1. 検診の流れについて、検温、体重、血圧、医師検診、総合判定の順に行う。役員や補助員については、マスクを着用するとともに必要に応じてフェイスシールドを着用する。
検温：補助員は手袋を着用する。選手が体温を測定するごとに補助員が除菌ペーパーにて体温計を消毒するとともに、手指消毒も行う。
体重：体重計から降りた後、補助員（役員）が除菌ペーパーにて体重計を消毒する。
血圧：補助員は手袋を着用する。血圧測定ごとにアルコール消毒薬等を用いて器具並びに手指消毒をおこなう。
医師検診：医師は手袋を着用する。検診ごとにアルコール消毒薬等を用いて器具並びに手指消毒をおこなう。（なお、日本ボクシング連盟ガイドラインに則り、口腔内の診察は省略することができる）

3. 競技中について

- 3-1. 競技はセッション制とする。（1競技15分ごと）
（第1競技：11時30分～ 第2競技：11時45分～ 以降15分毎に実施）
- 3-2. レフリーはマスク、ゴム製手袋を着用し、試合ごとに破棄するとともに、手指消毒を行う。
- 3-3. リングサイドに着席する、ジャッジ、DS、リングサイドドクター、関与するスタッフは、エアロゾル飛散による感染のリスクがあるため、マスクもしくはフェイスシールドを着用し、必要に応じて、アルコール製の消毒液で随時消毒を行う。選手と接触する際には、使い捨てのグローブを着用する。

- 3-4. セCONDは、マスクを着用し、プラスチック手袋も着用する。プラスチックグローブは試合ごとに交換する。
 - 3-5. セCONDがラウンド間の選手対応でタオルによる送風を行うことは、エアロゾルを発生させるため禁止する。(乾いたタオルによる汗拭きのみとする。)
 - 3-6. 選手のラウンド間のうがいの廃液やマウスピースの洗浄後の処理液及びその受け容器は、試合毎に処理、交換を行う。(各学校にてバケツ等を持参すること)
 - 3-7. グローブ、ヘッドガードは、各試合後にアルコール消毒を実施し、できるだけ乾燥させる。なおグローブ、ヘッドガード、椅子等の消毒は各校のセカンド等が行う。その際はプラスチックグローブを着用し、消毒後にそのプラスチックグローブは破棄すること。
 - 3-8. リングに関しては、試合ごとにロープ、コーナーパッドの拭き上げを行い、キャンバスに関しては、その日の競技終了後に、除菌アルコール散布又は拭き上げでの清掃を行う。
 - 3-9. 各グローブ、ヘッドガードなどの用具をどの選手が使用するか使用履歴を作成する。
 - 3-10. その他、ボクシング競技に関する行動は「日本ボクシング連盟のガイドライン」に準じて行動すること。
4. 応援、会場使用、その他について
 - 4-1. 競技場内への入場については、原則競技に関わる生徒、教員、競技役員、保護者(親族等)のみとし、一般観覧客は入場できない。(受付時に確認有り)
 - 4-2. 保護者の入場に関しては、会場入り口にて受付を行い、別添「保護者等入場チェック表」へ必要事項を記入するとともに、IDカードを着用すること。なお、帰宅の際はIDカードを返却すること。
 - 4-3. 応援については原則声を出さない。また応援者同士密とならないよう心がけること。
 - 4-4. 保護者(親族等)の応援については、当該選手競技時のみとし、競技終了後は他の保護者と入れ替わること。(応援席を設けず、選手等との距離を保つようにする)
 - 4-5. 生徒は会場並びに更衣室等狭いため、研修室を更衣や控室として使用することができる。
 - 4-6. 各人の飲食物・ゴミ等については、できる限り当該者が持ち帰り処分すること。
 - 4-7. 競技で使用するうがい用の水については、各自準備すること。(チーム内で使いまわしをしない。500mlサイズのペットボトルの水のみ)